

## 輿水章比古君追悼

布施修一郎（6組）

残念ながら6回目の年男を迎える前に、コシチャンは旅立ってしまった。同期11組の輿水章比古君(通称コシチャン)は長く糖尿病を患い何度もの入院を繰り返しており、その度に日常生活に復帰してきていたので、今度も大丈夫かと思っていたが限界がきたのであろう。小中学校時代一度も一緒になったことはないが、互いに開業歯科医の長男であったので意識はしていたし、歯科医師会の旅行などで時々一緒になったときのイメージは、マンガ「どらえもん」のジャイアン、それも気の良いジャイアンであった。見るからに腕力、基礎体力に富んでいた、それ故に何度もの危機をクリアーできたのであろう。

高校時代のコシチャンは野球部のレギュラーで、1塁の守備と、控えのピッチャーをこなしていたように記憶している。中でも、3年生の夏の県大会では、準決勝まで進み甲子園まであと一步だったのはハッキリと記憶している。プロ野球阪神の田淵ばりの彼の打球は高い放物線を描き、入るか入らないかいつもギリギリの位置に落下していたように思う。私は、吹奏楽団員としてスタンド陣取っていましたが、甲子園に行ければ寄付金で新しい楽器が購入できるのでと秘かに願っていましたがー、残念でした。

最近、飲酒の方もドクターストップがかかったいたにもかかわらず、同期、16名からなる「六五会」には、毎月必ず出席、飲まずに場を賑わせていた。飲めないこともあり、他の集まりには顔を出さず、唯一皆出席に近かったのは、歯科医師会のマージャン同好会でした。最後に開催された会、いつもは私に弱いコシチャンですが、コテンパに私を凹ましニコニコして帰宅していったあの姿が最後になってしまいました。また、あの風体に似合わず、料理が得意で、新そば、辛味噌、お正月の伊達巻とどれをとっても、商売品としても通用するものばかりで、毎年楽しませて頂きました。

最後に、こればかりは神頼みなので敵いませんでしたが、初孫の顔を見させてあげることが出来なかったことが心残りとなりました。

コシチャン、天国で美味しいお酒お料理を味わっていて下さい。 合掌